

他の専門部会への提案（提案先部会別）

産業・雇用部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	提案に関連する県の取組状況	関係部局
1	観光・交流部会	企業の副業、シェアワークについて、例えば、パートの仕事をしつつ、なかなか時間が取れないかもしれないが、他の企業で時間限定のシェアワークが可能であるような環境があつて、企業同士のマッチングのようなものがあればいいのではないか。【第1回 佐々木委員】	専門家派遣などの伴走支援により、副業や短時間勤務など多様な働き方の導入等に取り組むロールモデル企業の創出と、他企業への好事例の横展開に取り組んでいる。	産業労働部

農林水産部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	提案に関連する県の取組状況	関係部局
2	観光・交流部会	サキホコレについて、あきたこまちとは違うブランド戦略、秋田出身の芸能人をたくさん活用するなどのプロモーションが必要である。 【第1回 佐々木委員】	サキホコレのブランド化に向け、「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づき、生産から流通・販売に至るまで総合的な取組を展開しており、県出身の壇蜜氏をイメージキャラクターに起用し、テレビCMやポスター等でPRしているほか、県ゆかりの著名人14名に「サキホコレアンバサダー」を委嘱するなど、訴求力のあるプロモーションによるブランドイメージの向上を図っている。	農林水産部
3	観光・交流部会	人手不足に伴い、里山の管理ができなく災害が起こることもあり得る。里山も秋田の魅力の一つであるので、持続可能な整備が必要である。また、里山の魅力を広く伝えるため、そのような取組を含めて広く情報発信していくべきである。 【第2回 丑田委員、佐々木委員】	里山の整備については、「秋田県水と緑の森づくり税」を活用し、スギ人工林と広葉樹との混交林化や森林公園の整備、松くい虫・ナラ枯れ被害木の除去等に取り組んでいる。 また、里山の魅力を広く県民に伝えるため、ボランティア活動への支援や次代を担う児童・生徒等を対象とした森林環境教育を進めているほか、こうした取組について、県広報紙やテレビ番組、SNS等を活用し、情報発信に努めている。	農林水産部